

新春のごあいさつ

栃木県市町村職員共済組合
理事長 星野 光利



明けましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆さま方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、昨年12月に開催された第160回栃木県市町村職員共済組合組合会におきまして組合会議員の皆さまから理事長にご推薦いただきました。

理事長として3期目となりますが、引き続き組合員及び被扶養者の皆さまの福祉の向上と組合の健全な運営に努めますのでよろしくお願いいたします。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が日本はもとより全世界で猛威を振るい、当組合においても各種会議やセミナーを中止するなど影響を受けました。

こうした中でも、組合員及び被扶養者の健康保持増進や重症化予防を目的に策定した「第2期データヘルス計画(平成30年度～令和5年度)」の中間評価を行いましたので、今後も目標の達成に向けて所属所と協働し、組合員及び被扶養者の皆さまの健康保持増進に取り組んでまいります。

また、昨年、年金制度等改正に関する法律が成立し、在職中の年金受給の在り方の見直しや年金受給開始時期の選択肢の拡大、さらには、非常勤職員に共済組合の短期給付・福祉事業の適用が令和4年度以降順次行われることとなりました。新年度からは会計年度任用職員の加入者が増加することも見込まれることなどから、今後も刻々と変化する状況に応じて事業を実施してまいります。

本年の干支の丑(牛)は、農作業を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢」や「発展の前触れ」を表す年になると言われています。このコロナ禍で「我慢」を強いられることも多々ありますが、海外ではワクチンの有効性が確認されるなど「発展の前触れ」もあります。当組合も、役職員一同、皆さまのご意見を伺いながら、発展を見据えて我慢強く、なお一層の努力をしておりますので、引き続きご理解、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さま方のますますのご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げて、年頭のごあいさつといたします。

謹賀新年

市町村長側

職員側

学識経験
監事

事務局
長

他職員
一同

議長 須田 剛章
 議員 中上 康生
 議員 鈴木 宏
 議員 瓦井 雅俊
 議員 津久井 孝浩
 監事 目黒 淳一
 理事 金丸 直美
 理事 小幡 淳一
 理事 長幡 善志

議長 見目 匡
 議員 渡辺 美知太郎
 議員 大嶋 一英
 議員 岡部 正英
 議員 大川 秀子
 議員 佐藤 栄一
 監事 福島 泰夫
 理事 浅野 正富
 理事 齋藤 淳一郎
 理事長 星野 光利